

「市営交通 中期経営計画(平成27～30年度)」の振り返り

1 経営目標の達成に向けた指標

No.	項目	事業	4か年の目標	過去3か年の推移			30年度	
				27年度	28年度	29年度		
1	安全性の向上	バス	①二輪車との接触事故件数の減 (目標)	9件 (17件以下)	17件 (8件以下)	3件 (8件以下)	<b>7件</b> (0件)	
			②車内事故【発車反動・ドア狭圧】件数の減 (目標)	20件 (16件以下)	17件 (16件以下)	20件 (13件以下)	<b>8件</b> (12件以下)	
			③静止物との接触事故件数の減 (目標)	253件 (261件以下)	271件 (226件以下)	240件 (216件以下)	<b>229件</b> (192件以下)	
		地下鉄	①ヒューマンエラーに起因する事故・輸送障害の減 (目標)	16件 (15件未満)	16件 (15件未満)	16件 (14件以下)	<b>18件</b> (14件以下)	
			②車両・設備の故障件数の減 (※1) (目標)	車両	227件 (215件未満)	194件 (205件未満)	146件 (150件以下)	<b>174件</b> (135件以下)
				設備	297件 (307件未満)	318件 (268件未満)	256件 (270件以下)	<b>183件</b> (230件以下)
			③鉄道運転事故、重大インシデント：0件	0件	0件	0件	<b>0件</b>	
④輸送安全・運行に係る工事事故件数 (目標)		0件 (5件未満)	0件 (0件)	<b>0件</b> (0件)				
2	お客様からの評価	共通	お褒め・お礼の件数 4年間で 1,000件	180件	累計356件	累計556件	<b>累計788件</b>	
		共通	市民意識調査における市政満足度「バス・地下鉄の便」50%以上	48.1%	50.1%	50.7%	<b>47.1%</b>	
3	乗車人員	共通	バス・地下鉄合計 1日あたり 100万人	97.0万人	98.1万人	99.1万人	<b>101.3万人</b>	
4	利益・収益の還元投資	バス	【お客様に向けて】 累計9億円	0.8億円	累計5.6億円	累計12.7億円	<b>累計13.0億円</b>	
			【地域社会のために】 累計10億円	3.2億円	累計5.5億円	累計10.6億円	<b>累計18.1億円</b>	
		地下鉄	【お客様に向けて】 累計291億円	46.5億円	累計146.0億円	累計269.2億円	<b>累計350.7億円</b>	
			【地域社会のために】 累計9億円	2.5億円	累計5.6億円	累計10.2億円	<b>累計17.5億円</b>	
5	利益の確保 (※2)	バス	経常利益 累計40億円	18.0億円	累計33.8億円	累計40.1億円	<b>累計45.5億円</b>	
		地下鉄	経常利益 累計350億円	83.7億円	累計176.7億円	累計273.0億円	<b>累計360.9億円</b>	
6	企業債残高	バス	29億円	16.8億円	8.6億円	7.6億円	<b>6.9億円</b>	
		地下鉄	3,452億円	3,852.4億円	3,716.6億円	3,579.6億円	<b>3,449.8億円</b>	
7	職員アンケートにおける「やりがい」指標	共通	4.0点(5点満点)	3.44点	3.43点	3.45点	<b>3.42点</b>	

※1 29年度から車両故障の基準を変更(蛍光灯交換を車両故障の対象から除外)

※2 「利益の確保」については、平成29年3月に、バス・地下鉄ともに経常利益の目標額を上方修正

## 2 個別事業の達成状況

### 【達成状況】

◎…目標を上回って達成したもの	14事業
○…目標どおり達成したもの	51事業
△…進捗が遅れているが今後達成見込のもの	15事業
—…評価対象外	1事業
合計	81事業

### 1 お客様に向けて

#### (1)災害対策①地震に強い地下鉄の実現

No.		事業名	事業目標	4か年の取組	
1	地下鉄	さらなる耐震補強	中柱460本 高架橋320本	中柱290本、高架橋436本を施工	○

#### (2)災害対策②雨・雪に強い地下鉄の実現

No.		事業名	事業目標	4か年の取組	
2	地下鉄	浸水防止機の更新	32か所更新	32か所更新	○
3	地下鉄	3000S形ブレーキ装置改修	8編成実施	8編成実施	○

#### (3)地下鉄施設の計画的補修

No.		事業名	事業目標	4か年の取組	
4	地下鉄	平沼町シールドトンネル補修工事	下り線完了 上り線着手	下り線施工中(令和元年度完了予定) 上り線未着手	△
5	地下鉄	大江橋シールドトンネル補修工事	30年度 工事完了	令和元年5月完了	△
6	地下鉄	高架橋高欄部補修工事	新羽出入庫線及び センター南北間29 年度完了	工事完了	○
7	地下鉄	軌道改良(塩害対策)	関内～桜木町間完 了・桜木町～高島 町間着手	・関内～桜木町間(上り線)完了 ・関内～桜木町間(下り線)は、関内～吉野町(下り 線)に振替え施工中(令和元年度完成予定) ・桜木町～高島町間(上り線)着手	△
8	地下鉄	駅構内壁面タイル補修工事	38駅で実施	・29駅工事完了(令和2年度までに完了予定) ・34駅設計完了	△
9	地下鉄	変電所更新	2か所	2か所完成	○
10	地下鉄	信号保安設備更新	2か所(機器室)	2か所完成	○

#### (4)バス車両・施設の安全対策

No.		事業名	事業目標	4か年の取組	
11	バス	車外向け音声放送装置の導入	全車(800両)への導 入	全車(822両)導入(観光型バス、特定バス除く)	○
12	バス	接近検知警報機器の導入	小型バス・観光型 バス全車導入	小型バス・観光型全車(51両)導入	○
13	バス	車いす固定ベルトの更新	全車(800両) の更新	全車(822両)更新(観光型バス、特定バス除く)	○
14	バス	バス停ポールの固定化	220か所 実施	224か所実施	◎

#### (5)バス教習施設の新設

No.		事業名	事業目標	4か年の取組	
15	バス	バス教習施設の新設	教習施設の用地確 保と工事着手	適地がなく、用地の確保ができていない	△

#### (6)安全管理体制の強化

No.		事業名	事業目標	4か年の取組	
16	両事業	安全管理体制の継続的改善	—	・内部監査員の増員及び力量向のための研修の 充実 ・職員の安全意識の向上 ・運輸安全マネジメントに関する情報共有の堅密化	△
17	地下鉄	災害対応訓練の充実	—	夜間訓練、津波対応訓練など充実	○

## (7)ICTを活用したお客様への情報提供

No.		事業名	事業目標	4か年の取組	
18	バス	バス運行へのICT導入拡大	ICTの活用によるバス運行の安全・サービス向上	お客様への情報提供拡充などICTの活用によるバス運行のサービス向上	○
19	地下鉄	ブルーライン車内案内表示システム改修	12編成改修	7編成改修	△
20	両事業	多目的デジタル案内板の設置	横浜駅バスターミナル・地下鉄主要駅への設置	バス：横浜駅西口に乗り場案内や時刻検索等が行えるデジタル案内盤を設置(平成27年度) 地下鉄：全40駅51台設置	◎

## (8)バスの利便性を高めるダイヤ改正

No.		事業名	事業目標	4か年の取組	
21	バス	バスの利便性を高めるダイヤ改正	40路線の改善	175路線の改善	◎

## (9)ブルーライン快速運転の実施・検証

No.		事業名	事業目標	4か年の取組	
22	地下鉄	ブルーライン快速運転の実施・検証	速達化と利便性向上	快速運転実施による速達化と利便性向上	○

## (10)グリーンライン輸送力増強の検討

No.		事業名	事業目標	4か年の取組	
23	地下鉄	グリーンライン輸送力増強の検討	—	・6両編成化の事業化判断 ・最混雑時間帯における増発(18→19本)のダイヤ改正を実施	◎

## (11)他鉄道路線との連絡運輸の拡大

No.		事業名	事業目標	4か年の取組	
24	地下鉄	連絡定期券の発売範囲拡大	発売範囲の拡大	東京メトロ既設範囲拡大(平成28年度)。相鉄3線連絡拡大(平成29年度)	○

## (12)乗車券制度の見直しとサービス拡充

No.		事業名	事業目標	4か年の取組	
25	バス	分かりやすい乗車券制度の検討	—	通学定期券の値下げ、シニアバスのIC化及び値上げ、1日乗車券の紙券化など	◎
26	バス	定期券発売所の発売体制見直し	—	バス利用者の利便性を踏まえ検討実施	○
27	地下鉄	乗車券制度の見直し	—	通学定期券の値下げを実施	◎

## (13)駅構内店舗の開発と活性化の推進

No.		事業名	事業目標	4か年の取組	
28	地下鉄	駅構内の開発推進	新規3店舗の開店	桜木町駅(平成28年度)、都筑ふれあいの丘駅(平成29年度)に新たに店舗が開店(2店舗)、センター南駅に2店舗誘致(バスポートセンターと一体に令和元年に開業予定)	○
29	地下鉄	駅構内店舗の活性化	魅力あふれる駅ナカ店舗の仕組みづくり	入居店舗の見直し検討。新規サービスの導入(宅配ロッカー13台)	△

## (14)バス停ベンチ・上屋の計画的更新、修繕及び新設

No.		事業名	事業目標	4か年の取組	
30	バス	バス停ベンチの計画的更新、修繕及び新設	更新及び新設計80基	更新(82基)及び新設(23基)計105基	◎
31	バス	バス停上屋の計画的更新、修繕及び新設	更新及び新設14か所、修繕40か所	更新(4基)及び新設(6基)計10基、修繕64基	○

## (15)地下鉄駅の大規模改良工事の実施

No.		事業名	事業目標	4か年の取組	
32	地下鉄	関内駅改良工事	29年度完了	契約不調及び補修箇所増加により工事施工中(駅部：五輪開催前(令和2年7月)完了予定、駅前後のトンネル構築補修：令和2年度完了予定)	△
33	地下鉄	新横浜駅改良工事	一部完了	換気機械室土木工事完了(令和4年度下期完了予定)	○
34	地下鉄	上永谷駅改良工事	30年度調査設計	実施時期検討、調査設計(基本設計)の実施	△

## (16)地下鉄駅設備のリニューアル

No.		事業名	事業目標	4か年の取組	
35	地下鉄	エスカレーターのリニューアル	9台更新	8台更新(残り1台は、令和元年度更新完了予定)	△
36	地下鉄	エレベーターのリニューアル	11台更新	14台更新	◎
37	地下鉄	駅トイレのリニューアル	7駅実施	5駅実施(令和元年度2駅完了予定)	△

## (17)地下鉄駅の冷房化

No.		事業名	事業目標	4か年の取組	
38	地下鉄	地下鉄駅の冷房化	13駅実施	12駅実施(残り1駅は、令和元年度完了予定)	△

## (18)分かりやすく、使いやすい駅の実現

No.		事業名	事業目標	4か年の取組	
39	地下鉄	案内サインのリニューアル	12駅実施	9駅実施(残り3駅は、令和2年度完了予定)	△
40	地下鉄	駅高所清掃の実施	40駅実施	全40駅で実施	○
41	地下鉄	駅ベンチの新設・更新	順次実施	5駅新設	○
42	地下鉄	駅掲示物の効果的配置	順次実施	16駅に新たなポスター枠を設置など	○
43	地下鉄	駅のおもてなし充実	お客様へのご案内充実	3駅にステーションアテンダントを設置	○

## (19)ブルーライン3000形車両の新造・改修

No.		事業名	事業目標	4か年の取組	
44	地下鉄	3000形5次車の製造	28年度投入	3000形5次車は、平成29年3月23日完成、4月9日投入	○
—	地下鉄	3000A形車両の改修	3編成改修	3000A形車両の改修から、新車(3000V形2次車)の製造に事業方針を変更	—

## (20)お客様の立場に立った更なる接遇の向上

No.		事業名	事業目標	4か年の取組	
45	両事業	お客様の立場に立った更なる接遇の向上	—	研修の強化・充実(業務内容やレベル、個人の課題に応じた研修など)	○

## (21)低床バスの完全導入

No.		事業名	事業目標	4か年の取組	
46	バス	低床バスの完全導入	全車両低床化(18両導入)	小型ツーステップバスのノンステップ化が完了(18両)	○

## (22)乗り換え動線の円滑化

No.		事業名	事業目標	4か年の取組	
47	地下鉄	乗り換え動線の円滑化	あざみ野駅完了・横浜駅着手	あざみ野駅完了(平成28年度)、横浜駅着手(令和元年6月完了)	○

## 2 地域社会のために

### (1)環境にやさしいバスの導入

No.		事業名	事業目標	4か年の取組	
48	バス	ハイブリッドバス導入	15両	15両導入	○
49	バス	燃料電池バス(FCバス)導入	試験導入	視察・調査(令和元年度試験導入予定)	△

### (2)地下鉄車両の省電力化

No.		事業名	事業目標	4か年の取組	
50	地下鉄	地下鉄車内照明のLED化	BL:25編成 GL:15編成	BL:22編成(当初3000A形3編成のLED化も予定していたが、改修から新車製造に事業変更) GL:15編成	○

### (3)地下鉄駅照明の省電力化

No.		事業名	事業目標	4か年の取組	
51	地下鉄	駅照明の省電力化	10駅実施	12駅実施	◎

### (4)地下鉄湧水の活用

No.		事業名	事業目標	4か年の取組	
52	地下鉄	地下鉄湧水を区役所で利用	区役所への湧水供給開始	港南区総合庁舎に地下鉄湧水を供給	○

### (5)地域貢献型バスサービスの実施

No.		事業名	事業目標	4か年の取組	
53	バス	地域貢献型バスサービスの実施	新規2路線実施	新規3路線実施(脳卒中・神経脊椎センター巡回シャトルバス(平成27年度)、聖隷横浜病院循環(平成28年度)、聖隷横浜病院無料送迎バス(平成30年度))	◎

### (6)市内中小企業振興に向けた取組

No.		事業名	事業目標	4か年の取組	
54	両事業	市内中小企業への発注	累計8億円	累計26.1億円	◎

### (7)沿線の賑わい創出の取組

No.		事業名	事業目標	4か年の取組	
55	両事業	商店街等との連携	—	交通局広報誌「ぐるっと」や交通局Facebookによる市営交通と沿線商店街の魅力発信。市商連主催「ガチシリーズ」のPR協力。商店街イベントとの連携など	○
56	両事業	広報誌のリニューアル	—	バス・地下鉄沿線のおすすめスポット、イベント、グルメ情報、商店街情報を紹介することで、沿線の賑わい創出に貢献	○

### (8)新羽車両基地の有効活用の推進

No.		事業名	事業目標	4か年の取組	
57	地下鉄	新羽車両基地高架下・屋上の有効活用	年間貸付料 5,000万円	平成28年に公募、平成29年に契約し平成30年にスポーツ施設及び物流倉庫がオープン(年間貸付料収入 約7,200万円)	◎

3 地方公営企業としての責任と経営基盤の強化

(1) 観光・MICE振興などと連携した観光誘客の促進

No.		事業名	事業目標	4か年の取組	
58	バス	あかいくつの利便性向上	回遊性向上に向けた運行ルートの見直し	Cルートを増便(平成28年度)するとともに、より利便性の高いダイヤに改正し、回遊性向上を図った。	○
59	バス	横濱ベイサイドラインの収支改善	コースの見直し	平成28年9月末をもって事業終了。 ※平成28年10月から新たな観光路線バス「ぶらり観光SAN路線」を運行開始。	—

(2) 高速鉄道3号線延伸の検討

No.		事業名	事業目標	4か年の取組	
60	地下鉄	高速鉄道3号線延伸の検討	—	3号線延伸について事業候補者として、平成29、30年度の2か年で事業化判断につなげるための調査・検討を実施	○

(3) 地下鉄横浜駅改良計画の策定

No.		事業名	事業目標	4か年の取組	
61	地下鉄	地下鉄横浜駅改良計画の策定	—	横浜駅改良計画の策定に向け検討	○

(4) 乗車料収入の確保・増収対策

No.		事業名	事業目標	4か年の取組	
62	バス	営業力の強化	利用状況の分析と営業活動の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>お客様のニーズに合わせたダイヤ改正の実施(38路線)</li> <li>市営バスの乗車に不慣れな方に向けて、路線マップにバスの乗り方を掲出</li> <li>観光客をターゲットに、市内ホテルに路線マップを配布</li> <li>ICカードのコンビニチャージの利用促進 など</li> </ul>	○
63	両事業	タイアップ企画等の展開	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>地元プロスポーツチームとのタイアップ</li> <li>沿線企業などとのタイアップ</li> <li>本市施策とのタイアップ</li> </ul> タイアップに合わせたオリジナルデザインの企画乗車券の発売ほか	○

(5) 貸切バス事業の収入確保

No.		事業名	事業目標	4か年の取組	
64	バス	貸切バス事業の収入確保	収入確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>7台増車</li> <li>オリジナルツアーの実施</li> <li>30年度は26年度決算比42.2%増収</li> </ul>	◎

(6) 附帯事業収入の確保・増収対策

No.		事業名	事業目標	4か年の取組	
65	両事業	低未利用地・高架下の有効活用	25年度決算比15%増	・商業施設、保育園など有効活用が進み、30年度は25年度決算比24.4%増	◎
66	両事業	広告事業の媒体価値向上	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>ブルーライン・バス車内、横浜駅へのデジタルサイネージ導入、グランボード設置、広告媒体のリニューアル等を実施</li> <li>広告料収入の増(30年度は26年度決算比6.5%増)</li> </ul>	○

(7)バス事業の競争力強化と持続可能な経営

No.		事業名	事業目標	4か年の取組	
67	バス	バス路線ネットワークの充実・見直し	充実・見直し	<p>【27年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・みなとみらい100円バス廃止及びあかいくつMルート経路変更</li> <li>・65系統深夜バス一部延伸の本格運行</li> <li>・270系統、79系統の経路変更</li> <li>・210系統深夜バスの一部短絡</li> <li>・南区総合庁舎シャトルバスの新設</li> </ul> <p>【28年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ふらり観光SAN路線の運行開始</li> <li>・70系統の横浜交通開発(株)への移譲</li> <li>・75系統の経路変更及び運行効率化</li> <li>・南区総合庁舎シャトルバスの廃止と代替策の実施</li> </ul> <p>【29年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・25系統の路線延長</li> <li>・214系統、318系統の新設</li> </ul> <p>【30年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・聖隷横浜病院特定バス運行開始</li> <li>・85系統の一部時間帯経路変更</li> <li>・205系統新設(回送の営業化)</li> <li>・ふれあいバス(緑区・十日市場地区)路線再編</li> </ul>	○
68	バス	新たなバス交通の導入検討	導入検討	連節バスの運行事業者として、導入に関する課題の検討及び国庫補助金の活用やバス停留所位置の確定に向けた関係各所との調整、車両の発注などを実施	○
69	バス	バス運行委託の継続及び委託路線の拡大	—	横浜交通開発(株)に対する運行委託について、5年間の許可を取得(平成29年度)	○

(8)戦略的広報の推進

No.		事業名	事業目標	4か年の取組	
70	両事業	戦略的広報の推進	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元メディアと連携したPR動画の制作</li> <li>・公式Facebookページの開設し、高頻度で記事の投稿を実施</li> <li>・ブランド力向上のため、交通局イメージ調査を実施など</li> </ul>	○

(9)業務用タブレット端末の活用

No.		事業名	事業目標	4か年の取組	
71	両事業	業務用タブレット端末の活用	320台導入	322台導入	○

(10)市営交通グループの競争力強化

No.		事業名	事業目標	4か年の取組	
72	両事業	関連団体の見直し	重複業務の見直し	一部重複業務を見直し。横浜交通開発(株)との協約策定などを通じて、関係団体のあり方について検証を実施。	○

(11)バス・地下鉄事業を担う人材の育成と確保

No.		事業名	事業目標	4か年の取組	
73	バス	バス直営車検の拡大・工場建設	直営車検工場建設	基本設計・建設工事(令和元年完成)	○
74	地下鉄	駅務機器の研修環境の整備	研修環境の整備と習熟度向上	研修機器の整備・習熟度の向上(レベル別の実機研修を実施)	○

(12)職員の健康管理の増進・職場環境の改善

No.		事業名	事業目標	4か年の取組	
75	両事業	職員の健康管理	健診等事後フォローの充実及びメンタルヘルス体制の整備	検診、検査の拡充、個別相談の実施。メンタルヘルス対策の充実	○
76	バス	営業所施設の計画的修繕	完全分煙化及び計画的修繕	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全営業所の屋内禁煙達成</li> <li>・3営業所の計画的な修繕を実施</li> </ul>	○
77	地下鉄	女性職員が動きやすい職場環境の整備	—	4駅実施	○

## (13)コンプライアンスの更なる徹底の推進

No.		事業名	事業目標	4か年の取組	
78	両事業	公金の取扱や適正な事務処理に対する職員意識の向上	—	基礎研修及び課別・内容希望制の研修を行いスキルアップを図るとともに、毎年局内全課を対象に内部監査を実施	○
79	両事業	コンプライアンスの推進に向けた実効性確保	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンプライアンス推進委員会を開催(毎月1回)</li> <li>収入金誤差や事務処理ミスなどの原因・再発防止策を議論。また、再発防止策が機能しているかを確認</li> <li>・公金等管理検討部会を開催(2か月に1回)</li> <li>・各所属における不祥事防止研修の実施を指示</li> <li>・リスクマネジメントの取組として、局業務全体を対象として、リスクの抽出・評価を行い、行動計画の実行・モニタリングを実施</li> </ul>	○

## (14)組織風土改革

No.		事業名	事業目標	4か年の取組	
80	両事業	職員提案制度の活用	—	アイデア提案:180件、改善事例共有報告:124件	○
81	両事業	自主企画事業支援制度の活用	—	年2回(夏・秋)事業を募集。36件実施	○